

# 学生と教員の見方

【学生の見方&考え方】  
(3年 岩井克修)

山形県上山市の旧市街地では、NPO法人かみのやまランドバンクにより「空き地の広場活用事業」が進められている。

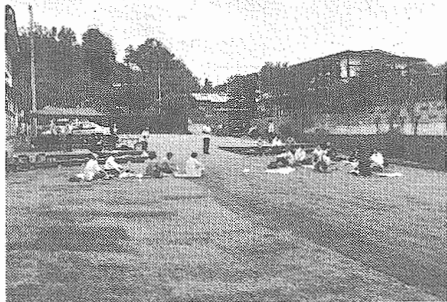
空き地所有者の多くは相続した土地を売却したいが、購入者が簡単には現れない。所有者から相談を受けたNPOは、土地をNPOに賃貸するか市に寄付することを提案する。上山市は空き家対策の一環として、一定の条件を満たす空き地の寄付受けをしている。NPOは所有者または寄付受けした市から空き地を低廉地代で賃借し、これ

## 将来の区画再編を見据えた空き地活用

までに2カ所の公開広場を整備した。

広場の芝張りには地域住民や地元の子どもの参加があり、その後はNPOの主催によるイベントやマルシェが開催されている。

「八幡丁ワクワク広場」は蔵王連峰を眺めることがで



「八幡丁ワクワク広場」は蔵王連峰を眺めることが出来る斜面地にあり、食事ができるウッドデッキが設置された気持ちの良い場所に



【アピールポイント】  
バスケットボールの試合観戦が大好きです。試合の熱気と戦術に魅了され、バスケの世界に没頭しています。

しか見えないが、実は将来の区画再編を見据えた取り組みと知り、空き地活用のおもしろさを知った。

そこで上山では、まずは将来の区画再編のリザーブ用地として空き地を確保しておくことを考えた。必要ならリザーブ用地を確実に押さえておくため、上山市は、

日本版ランドバンクの先駆者として知られる山形県鶴岡市のNPO法人つるお

空き家等対策計画の中で、一定エリア内の空き地でミニ区画整理が見込まれる場合には、市が寄付を受け入れる施策を打ち出した。あわせて、地域活性化を図るため公共公益性が認められる場合は、市が連携協定を締結する都市再生法人(か

## 公開広場を2カ所整備

## NPO主催イベントも開催

なっていた。イモやマルシエを通じて特産品や文化を発信すれば、地域の活性化や魅力向上につながるだろう。

この仕組みが、将来の区画再編を見据えた空き地の活用を支えている。他地域を参考にしつつ、自分

とほいえ、NPOがこのまま空き地を借り続ける。一見すると単なる広場に

組織し、区画再編を進めようとしたがうまく進まなかった。

「八幡丁ワクワク広場」(上山市建設課提供)

「リザーブ用地として、空き地を確保していたのである。一見すると単なる広場に